

地域創生に係る包括的地域連携協定を締結

問合せ先／人口増政策課 ☎42-8700
fax43-1800 jinko@city.kasai.lg.jp

9月27日、加西市とリコージャパン株式会社は市民サービスの向上とさらなる地域活性化へ向けた綿密な相互連携と協働による活動を推進するため、「包括的地域連携協定」を締結しました。

連携する事項は、主に最新のICT技術を活用した働き方改革、産業・観光振興、環境・省エネ対策等に関することです。今後、相互の人的・知的資源の活用を図り、協働して事業を展開していきます。



左から(株)リコー山下社長、西村市長、リコージャパン(株)松崎常務

「株」リコー 山下社長による「ふるさと講演会」

上記の締結式終了後、加西市出身である山下良則社長を母校の北条高校にお招きし、講演会を開催しました。「ビジネスで創る共栄の世界」と題した講演会では、人と人とのつながりを大事にすること、常に好奇心を持つこと、過去の常識にとらわれないことなど将来へのアドバイスなどをされました。講演後は、在校生からのたくさんの質問へ丁寧に回答されていました。



加西こども狂言塾 姫路市で熱演

問合せ先／文化・観光・スポーツ課 ☎42-8756
fax42-8745 kanko@city.kasai.lg.jp

10月13日(日)、姫路市で行われた「ひょうご民俗芸能祭」に加西市こども狂言塾が出演しました。はじめに地謡に合わせて仕舞「花の袖」「柳の下」を演じ、次に狂言「二人大名」を演じました。最後に大浦ほのかさん(北条東小6年)と坂本暁理(あかり)さん(北条東小6年)の2人で狂言「盆山(ぼんさん)」を演じました。絶妙な掛け合いを見事に演じ切って、大きな笑いを巻き起こした狂言。こどもたちの努力と成長が、はっきりと形になった1日でした。これからは、来年5月の「加西能」に向け、新作狂言「根日女」のお稽古に入っていきます。



狂言「盆山」を演じる大浦さん(左)と坂本さん(右)

加西市協創のまちづくり条例(案)パブリックコメント

持続可能なまちづくりの推進に向けて、「加西市ふるさと創造条例」を改正し、新たに「加西市協創のまちづくり条例」を制定し、個性豊かで活力に満ちた地域社会の実現を目指します。条例案に対するご意見を募集します。

●**閲覧場所**：ふるさと創造課(市ホームページ、各公民館、地域交流センターでも閲覧できます)

●**締切**：11/20(金)まで ●**提出方法**：閲覧場所にある「意見用紙」を提出 ●**問合せ先**：ふるさと創造課 ☎42-8706

この度、市役所へのインターンシップとして加西市出身の2人の大学生を1週間受け入れました。瀬戸美憂さん（兵庫県立大学3年）は鶏野未来課と秘書課で、藤本齊弥さん（大分大学3年）は、文化・観光・スポーツ課で職業体験をされました。2人には、携わった仕事の取材をしてもらい、実際に広報紙とSNSの体験記事を書いてもらいました。

●加西市と伊勢市を風船がつなぐ

10月4日、船谷建設（三重県伊勢市）の船谷哲司社長が西在田小学校を訪問され、伊勢神宮のお守りと児童図書をプレゼントされました。きっかけは、平成28年11月に小学校から飛ばした風船が、船谷建設の敷地に落ちていたこと。風船には、「頭がよくなりますように」という児童の願いを書いた短冊が結んであり、これを見つけた社長がご縁を感じ、学業のお守りと児童図書を小学校にプレゼントしたことが始まりです。

今回で4回目の訪問となり、船谷社長は、「子どもたちの元気な顔を見ることが楽しみです。いつまでも続けたい」と話されました。お礼に全校生徒で合唱をしました。これまで寄附された本は、図書室に「船谷文庫コーナー」を設け、大切に保管・利用されています。**（取材・記事：瀬戸美憂さん）**



プレゼントを手にする児童と船谷社長(中央)



瀬戸さん

～感想～ 加西市でトップクラスの観光資源・歴史遺産である鶏野飛行場の仕事に携わりました。結果を求められることもあり大変なことも多いと思いましたが、市民の方が「変化を感じる」ことができるよう飛行場を活用し、市の活性化について取り組む、とてもやりがいや達成感のある素晴らしい仕事だなと思いました。

●「かさいまちあそび」に参加！！（SNS記事より）

10月10日、「歴史ガイドと巡る！鶏野飛行場跡周辺の戦争遺跡」に参加しました。紫電改実物大模型や防空壕など鶏野飛行場跡周辺をボランティアガイドの皆さんの案内で散策。鶏野飛行場では戦時中、姫路海軍航空隊が編成され、同隊からも63名が特攻隊員として出撃され、沖縄で亡くなりました。ガイドの西山さんが、説明されながら涙する姿に戦争の悲惨さを痛感しました。

参加した井上さんは、「飛行機を見るのが好きで参加したが、特攻隊の方々」に敬服し、あらためて今の平和に感謝したい」と話されました。今の平和があるのは戦争に従事した人たちのおかげであることを忘れずに、戦争の悲惨さを後世に伝えていかなければならないと感じました。**（取材・記事：藤本齊弥さん）**



歴史ガイドツアーの様子

～感想～ デスクワークだけでなく、情報共有や現場でのイメージ力が必要で、とてもやりがいのある仕事だと思いました。加西について知らないことがたくさんあり、もっと加西を知りたくなりました。これからの勉強への意欲が高まる良い経験をさせていただきました。



藤本さん

ご寄贈に感謝します

本年、設立50周年を迎えられました是常精工株式会社の是常克博代表取締役社長さまより、市政の発展に使ってほしいと金1000万円をご寄贈いただきました。ありがとうございました。